



葉山町

議会だより

No. 120
2015.4.15



第1回定例会(2月10日～3月12日)

- 平成27年度予算
- 委員会レポート
- 一般質問(12人登壇)

2～7ページ

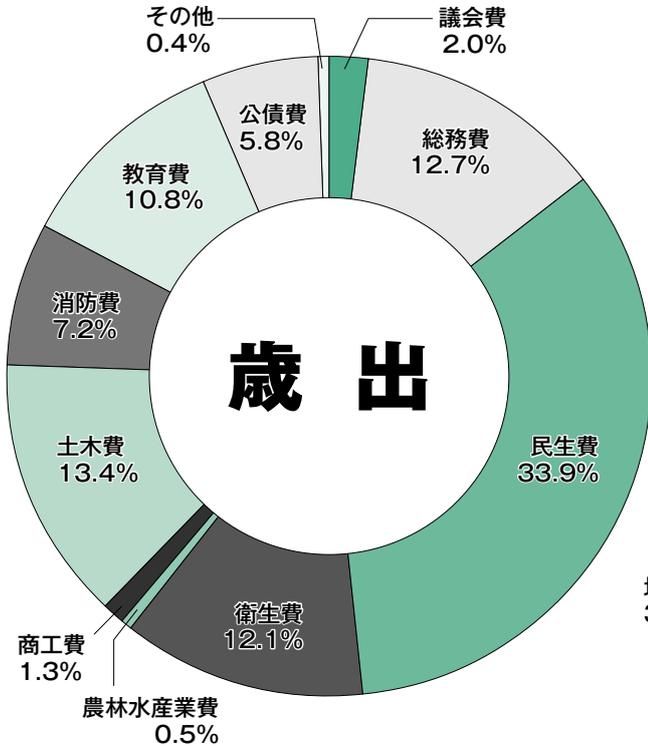
11～14ページ

18～23ページ

一般会計

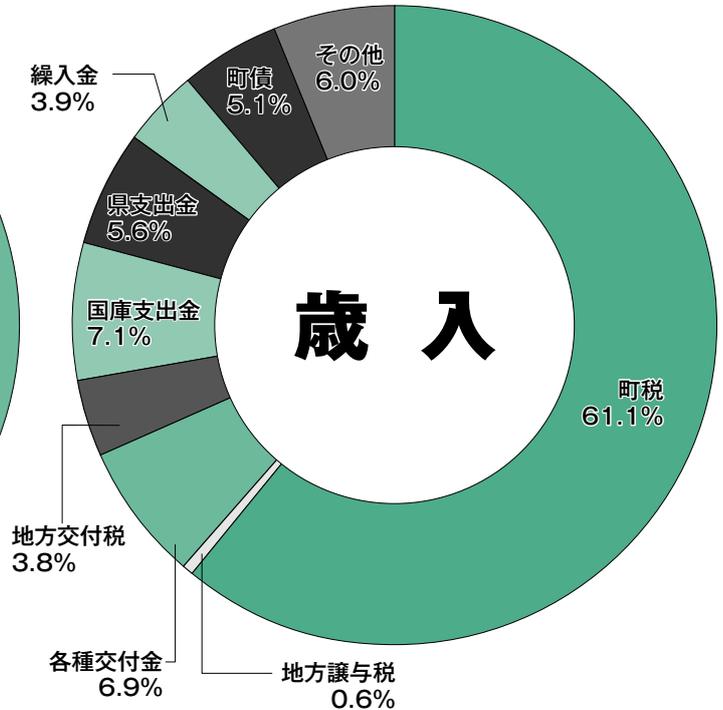
92億8,950万円を可決

予算総額 185億 7,494万円



〈主な内訳〉

- 総務費／ 11億 8,238万円
- 民生費／ 31億 4,605万円
- 衛生費／ 11億 2,001万円
- 土木費／ 12億 4,491万円
- 教育費／ 9億 9,978万円



〈主な内訳〉

- 町 税／ 56億 7,141万円
- 国庫支出金／ 6億 5,817万円
- 繰入金／ 3億 5,850万円
- 町 債／ 4億 7,020万円

平成27年度 各会計予算規模

(単位:万円 千円以下四捨五入)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	伸率(%)	
一般会計	928,950	918,960	9,990	1.1	
特別会計	国民健康保険	428,075	387,170	40,905	10.6
	後期高齢者医療	85,607	85,407	200	0.2
	介護保険	269,368	251,833	17,535	7.0
	下水道事業	145,494	134,126	11,368	8.5
	小計	928,544	858,536	70,008	8.2
合計	1,857,494	1,777,496	79,998	4.5	

町民一人あたりの町税額 16万9,276円

人口 3万3,504人 (平成27年1月1日現在 住民基本台帳人口)

町民一人あたりの予算額

277,265円

前年度対比 +4,050円



葉山町の予算を家計に例えると・・・

葉山家の年収を500万円と仮定して家計に当てはめてみました。

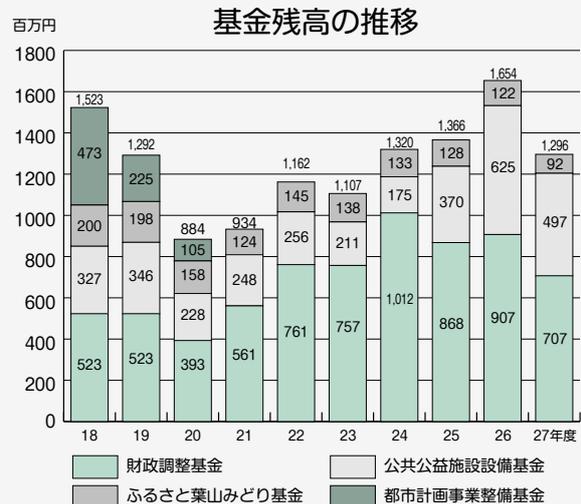
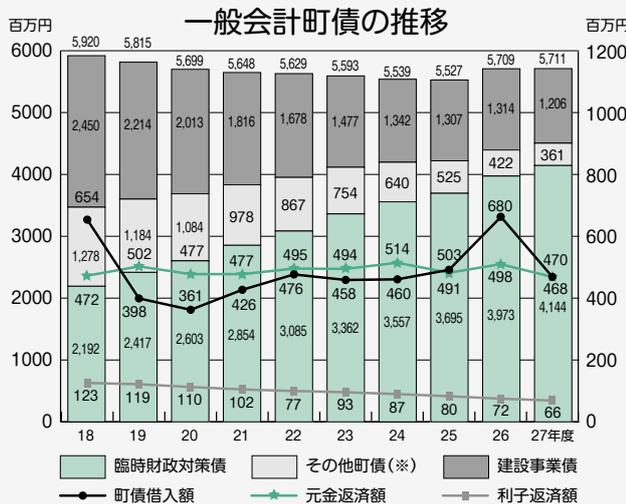
※注 () 内は前年度

収入	給料	諸手当	貯金の取り崩し	家賃	親(国)からの仕送り	家の増改築などのための借入	合計 500万円
	305万円 (303万円)	101万円 (94万円)	19万円 (13万円)	30万円 (28万円)	19万円 (26万円)	26万円 (36万円)	
町税	譲与税・交付金 ・国県支出金	基金繰入金	使用料手数料 など	地方交付税	町債		

支出	生活費	医療費	ローンの返済	家の増改築	子どもへの仕送り	その他の生活費	合計 500万円
	154万円 (147万円)	73万円 (68万円)	29万円 (31万円)	28万円 (37万円)	95万円 (93万円)	121万円 (124万円)	
人件費	扶助費	公債費	普通建設 事業費	繰出金	物件費など		

一般会計町債残高(借金)と基金残高(預貯金)の推移

(26年度・27年度は各年度末予測)



予算審議総括質問

こんな点が気になり

質問者の提出原稿を基に編集しています



予算審査風景

2月17日・18日、平成27年度予算に対し12人の議員が総括質問を行いました。

田中 孝男

(無所属)

問 2月時点の決算見通しから、約7億2千万円の余剰金(内3億2千万円は基金に積み立てた、4億円が剰余金となる)が見込まれる。年度末に起債される臨時財政対策債(国が原則交付税で支払う事としている借金を、起債しないでも済むのではないか。事前に許可を受けてはいるが、起債しなくても良いのか。

鈴木 道子

(公明党)

問 プレミアム商品券発行之について伺う。

町長 商工会と調整し、追加議案として示す。

問 「行政の見せる化」として「事業シート」の活用を提案するがどうか。

町長 指摘のような事業ごとのシートを作成する。健康は最大の節約だ。攻めの健康づくりとしてデータヘルスの推進やヘルスケアポイント、民間等を巻き込む健康定期預金を提案するがどうか。

町長 様々な声かけもある。十分活用していく。

問 全職員にAED講習等を受けさせるべきだが、

町長 町は密漁対策、観

え続けている。「臨財債といえども町の借金に変わりはない」と、よく答えているがどう考えるのか。

町長 他の町債を減らし臨財債が増えているが、全体のプライマリーバランスは保っている。

総務部長 対応していく。光はダイバーの、漁協は漁業の活性化。

問 認知症対策はどうか。

問 児童生徒へのがん教育をすべきだがどうか。

問 国との検討会の結果を見て考えていく。

問 中学校給食実施計画の実現の想定はいつか。

問 計画ができてから4年くらいだ。

町長 町でふるさと納税のシステムを作らないのか。

町長 草津町のような方策で、1回限りの納税にならないように考える。

問 商工会とのタイアップはできないのか。

町長 商工会だけでなく農協や漁協の力を借りて町の特産品探しをする。

問 2020年オリンピック・パラリンピックのセーリング競技の誘致は。

町長 吉報を待ちたい。

問 ボートダイビングの有効性は。

町長 町は密漁対策、観

問 来年度の目標は。

問 町内すべての小中学校の先生にパソコンを配備することを評価する。

問 ICT化で校務支援システムにつながるのか。

問 全職員が情報共有するシステムを活用する上での前提の状況。

問 下水道事業の10年概成アクションプランとは。

町長 市街化区域の513軒を10年で完了を目指す。

問 歳入で自主財源の占める割合の理想は。

町長 大きくは町税の確保に尽きる。また、公債費の返済が確実に終われば、自主財源に回せる。

問 小・中一貫教育の施策とは。

教育長 ソフト面が重要。現場での教員が授業研究を共に繰り返し、授業力を向上。また、他県市町村の先進的取組みの成果を取り入れたい。

問 国の要求する地方人

町長 リノベーション活用で新しい方に住んでもらう検討をしたい。

問 戦略策定への対応は。

町長 具体は不明確だが、本町新年度施策の具体策に酷似していると思われる。27年度中に対応する。

問 民間に委託か。

町長 公設だが、民営だ。

笠原 俊一

(尚政会)

問 町の空き家対策とは。

町長

町長

町長

町長

町長



問 南郷ヒルクライムレース（仮称）の対応は。

町長 実行委員会所管だが、実施は各課連携で行う。

問 プレミアム商品券の補助額は。

総務部長 交付される満額を補助金とする。

問 姉妹都市宿泊助成の変更点、パンフレット制作費20万円とは。

生活環境部長 宿泊助成金は従来同様だが、紹介のパンフレットにクーポン券の印刷や割引パスポート的なものを草津町と協議している。

町長 多くの町民が温泉でリフレッシュされるよう強力に広報する。

窪田 美樹 (日本共産党)

問 小児医療費補助を、住民誘致の観点からも中学3年まで対象にしては。

町長 税の還元と、子どもの医療に制限を設けるべきでないという観点から、所得制限を撤廃した。検討課題だ。

問 逗子市と大差の幼稚園就園奨励金の拡充は。

町長 子ども・子育て新法に向けて新たに考える。中学校給食の実施に向けた27年度の計画は。

教育部長 規模や候補地、運営方法、整備スケジュールを整備費の概算に含めて計画書をまとめたい。

問 一色小学校新館で学童保育を行うが、今後の各小学校で実施計画は。

町長 一色小をモデルとし、議論しているのか。

高いと言われているのか。

いる介護保険料。軽減策として一般財源を投入すべき。

町長 一般財源の投入は可能と思うが、保険料上昇は葉山らしいサービスを実施した上の結果論だ。

守屋 巨弘 (無所属)

問 葉山町にとって地方創生策とは何か。

副町長 国から示された概要等を踏まえ、これから長期ビジョン、そして地方版の総合戦略を平成27年度中に策定するよう求められているが、今後

同戦略を策定するに際して、県との協議等々あり現時点ではまだ具体的に明らかにする段階に至っていない。

問 ごみ処理事業に関して、平成26年3月策定の「ごみ処理基本計画」では、22年度対比で可燃ごみを30%削減する目標を掲げているが、27年度中に目標を達成できると考えているのか。

町長 可燃ごみは昨年度比で22%削減した。もう少しの努力で目標は達成できるものと考えている。

町長 可燃ごみは昨年度比で22%削減した。もう少しの努力で目標は達成できるものと考えている。

問 私立幼稚園の耐震化率の実態把握は。

教育部長 現段階では本件の把握はできていない。

畑中 由喜子 (いきいき葉山の会)

問 予算の政策重点を健康とした理由は何か。

町長 国や県の動向も踏まえ、これからの少子高齢化の時代に葉山が今でさるところで、将来にわたり必要に迫られるものは町民の健康と判断した。

問 国の少子化対策はこゝとこ機能せず終わっている。一貫性がないため、女性が働きながら安心して子どもを産み育てる環境ではないからで、その分、町が負担している。国に税源移譲を強く働きかけるべきでは。

町長 機会を捉えて県下の市町村で統一した動きをしていくことが重要。

入っている。

問 施政方針で、神奈川シープロジェクトに積極的に協力し、三浦半島を一つとした活性化に寄与したいとされたが、かつの三浦半島ぐるり一周プロムナード構想を思い出す。一律の取組みはリスクもある。葉山には葉山の良さがあるのでは。

町長 仰る通りと思う。

近藤 昇一 (日本共産党)

問 人口減少に対応する空き家対策は空き家特別措置法に基づくものか。

町長 法を活用し、プラシメージの空き家活用を促す。葉山町独自の空き家対策を打ち出す。

問 耐震改修促進計画で昭和56年以前建築の木造住宅の耐震化率90%の目標年次が平成27年になっているが、施政方針に触れていない。

都市経済部長 目標は達成できないが、県も計画を改定するという情報が入っている。

入っている。

問 制度の見直しが必要ではないか。

町長 情報を得ながら、方針を固めたい。

問 第二期教育総合プランの策定に向け、一期の教育総合プランを、どのように総括されるのか。

教育長 基本精神を受け継ぎ、総括をした上で作業に入っていきたい。

問 国民健康保険料は。保健福祉部長 平均して7千円程度下がる。

荒井 直彦 (尚政会)

問 鳥獣被害防止計画の策定は実現可能か。

副町長 県と関係各課との協議が順調に進んでいて、年度内には策定可能と考えている。

問 スズメバチの駆除事業を記載するべきでは。

町長 ご指摘の予算書の説明については、病虫害防除対策事業としてスズメバチの駆除費を載せていこうということ、しっかりと対策をして町民

の生命の安全を守っている。取組みの覚悟は持っている。

問 「広報はやま」にハチトラップの掲載を改めてもう一度、お願いできないか。

生活環境部長 「広報はやま」の4月号に合うかどうか、もう一度調整をして、トピックスの前面のところに、住民の方々が見てすぐハチトラップとわかるような形で対応したい。



横山 すみ子 (新葉クラブ)

問 葉山町の空き家率は、総務省の調査では県内ワースト3位で、15・4%。町内の空き家はどのような方法で調査するのか。

問 第四次葉山町総合計画のスタート年であり、町制施行100周年に向けて、27年度歳出予算で一番力を入れたところはどこか。

調査をしたい。補正予算対応になると思う。

町長 空き家については、不動産価値のある空き家情報収集などポジティブにできることはやっていく覚悟で27年度取組む。

問 公共施設等の総合管理計画はどこが担当し、いつまでに策定する予定か。町民も含め、研修が必要ではないか。本年度予算で数字的に見えない。副町長 新しくできる公

待寺 真司 (無所属)

ある程度資料が整ったら補正などをお願いする。

町長 計画は検討委員会等で策定し、町民にお示ししたい。また先進地の視察等は、本年度は研修費に上乗せしてある。

問 健康増進に向けた様々な施策の展開をこの10年で図っていくのか。

町長 健康を追及していくことが行政の責務と考える。平成27年度当初予算は、予算特別委員会を設置しました。

近藤昇一委員長のもと、荒井直彦副委員長、守屋巨弘、田中孝男、土佐洋子、待寺真司の各委員が、2月19日には現地調査を行うとともに、25日までの5日間にわたり、関係部課長等の出席を求め、説明及び提出資料により、慎重審査を行いました。

町長 危険だと判断されているので、可能な限りタイミングが合えば早い時期の実施を目指す。金銭的な問題ではない。

予算特別委員会の審査報告

町長質問事項

- 1 新春の集いの規模及び内容
- 2 国際交流及び姉妹都市交流の今後の方向性
- 3 資源エネルギー対策促進の取組み
- 4 消防職員の採用に関する考え方
- 5 機械系技術職の採用に関わる考え方
- 6 町内会館の設置に関する考え方

教育長質問事項

- 1 しおさい公園及び博物館への誘客対策

審査結果

平成27年度葉山町一般会計予算及び平成27年度葉山町介護保険特別会計予算については全会一致により原案のとおり可決すべきものと、平成27年

指 摘

- 1 予算付属説明書の記載は正確な表現となるよう配慮すべきである。
- 2 新規事業については資料等の提出に配慮するなど詳細に説明すべきである。

要 望

- 1 2年後に迎える国際姉妹都市締結20周年を前に、ホールドフラストベイ市との今後の交流のあり方について示されたい。
- 2 資源エネルギー対策

- 意見**
- 1 南郷地区活性化事業の町の関わり方について中・長期的なビジョンを示すこと。
 - 2 促進に当たっては、推進計画を策定し、取組まれない。
 - 3 消防吏員退職に伴う採用には、消防吏員をもって充てられたい。
 - 4 機械系技術職は、雇用形態にかかわらず積極的な採用を図られたい。
 - 5 町内会館のあり方に関して、早急に町としての統一の方針を示されたい。
 - 6 元気な高齢者に関する施策を積極的に展開されたい。
 - 7 生活排水処理に関わる今後の具体的な展望について早急に示されたい。
 - 8 町民への戸別収集導入後のごみ減量効果を具体的に開示されたい。

本会議における平成27年度の予算審議結果

鈴木道子・長塚かおる・守屋亘弘・田中孝男・畑中由喜子・土佐洋子・横山すみ子・窪田美樹の各議員が討論を行いました。

主な討論内容

賛成

一般会計

- ・特別交付税の減額要因となっている地域手当は財政的配慮に基づく必要な対応を引き続き要望
- ・ごみ処理事業はよりよきパートナーシップに基づき逗子市と話し合いを速やかに進めてほしい
- ・機構改革に伴い、役場内の横連携はもとより縦連携を迅速・密接に、また消防本部職員の体制強化を望む
- ・健康をテーマに多くの関連施策が盛り込まれた
- ・ショートステイでの看取り加算の創設に注目
- ・12歳まで小児医療費助成所得制限撤廃
- ・防災対策強化事業で三ヶ岡緑地津波避難経路整備が組まれた
- ・南郷活性化事業に期待
- ・家庭用燃料電池システムやリチウムイオン蓄電システム補助を評価
- ・テニスコートの施設予約システム導入
- ・町内すべての小中学校教員にパソコン整備
- ・小中学校のグラウンドの調査委託
- ・胃がんリスク検診、人間ドック・脳ドック費用補助の拡充
- ・中学校給食の年度内の基本計画のまとめ、一日でも早い実施を求める

国民健康保険特別会計

- ・保険料を1人平均7千円程度抑制できた

介護保険特別会計

- ・介護保険料の段階を現行の11段階から14段階へと細分化し低所得者の負担の伸びを低く抑えた

下水道事業特別会計

- ・10年概成プランのモデル都市を期待
- ・接続率向上に向けて町長が前向きにアクションを取らなければならない
- ・私道に面した家屋の取り扱いに対応が必要

反対

後期高齢者

- ・制度そのものに反対
- ・75歳以上の保険料が際限なく上がる仕組み
- ・制度設計に誤りがある

下水道事業

- ・3団地のコミュニティプラントを葉山浄化センターで排水処理すべき
- ・早期に市街化調整区域の合併浄化槽による整備を進めなければならない
- ・突然、10年概成と言われても理解できない

各会計別予算審議の結果

◎一般会計	全会一致により
◎国民健康保険特別会計	全会一致により
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数により
◎介護保険特別会計	全会一致により
◎下水道事業特別会計	賛成多数により

可決

こんなことが決まりました

本会議での質疑・討論も含めた報告です



第1回定例会は、2月10日から3月12日まで開催しました。一般質問は12人が登壇し、当面する行政課題をただしました。葉山町一般会計補正予算等29件および陳情5件を審議しました。

◎平成26年度葉山町一般

会計補正予算(第7号)

歳入概要

●町税

(1億1890万円)

●地方交付税

(379万円)

●町民いこいの家等維持
管理事業(繰越明許費)
(1258万円)

歳出概要

●基金積立金

(3億2243万円)

●小学校管理事業

(△7937万円)

主な質疑

問 期末に出る余剰金の見込みは。

答 約4億円を見込む。

問 各小学校空調設備工事等は当初2億7千万円の予算だが、更正減が約8千万円で理解しているか。

答 滞納繰越ゼロを目指すべく来年度も収納率の向上に務める。

問 一般寄附に対する町

の対応状況は。

答 1200万円の寄附が1人、500万円の寄附が1人、3万円、2万円、1万円の寄附が各1人。計5件の方々には改めて訪問と交際費の範囲で町の特産品をお持ちしたい。ふるさと納税は27年度に実施する方向で検討する。

の対応状況は。

答 1200万円の寄附が1人、500万円の寄附が1人、3万円、2万円、1万円の寄附が各1人。計5件の方々には改めて訪問と交際費の範囲で町の特産品をお持ちしたい。ふるさと納税は27年度に実施する方向で検討する。

◎平成26年度葉山町一般

会計補正予算(第8号)

歳入概要

●葉山町総合戦略等策定事業 (550万円)

●空き家対策推進事業 (700万円)

●健康と生きがいづくり推進事業 (147万円)

●小児医療助成事業 (拡充分839万円)

●消費喚起プレミアム商品券事業 (2567万円)

●議会活動費 (18万円)

●葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

歳出概要

総務費 (2368万円)

商工費 (2567万円)

主な質疑

問 地方創生交付金の町の申請は全部通ったのか。

答 今回補正に上げた事業はすべて認められたと理解してもらいたい。

問 700万円の多額な予算の交付金の内容は。

答 空き家の有効活用のための実態調査等の予算。

◎平成26年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

◎平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

所得制限撤廃に伴う補正である。

消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつごろの実施を考えているか。

答 販売時期は9月から10月、使用期限は12月から1月末、限度額は今のところ考えていない。

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

議会活動費 (18万円)

葉山町教育・保育給付に係る利

は政治倫理審査会が3月中に開かれたい想定か。

歳入歳出予算の総額

(単位:千円)

会計名	補正前の予算額	補正予算額				小計	補正後の予算額
		7号	8号	9号			
一般会計	9,558,140	263,889	49,534	0	313,423	9,871,563	
特別会計	国民健康保険	4,030,156	19,867	0	0	19,867	4,050,023
	後期高齢者医療	914,245	0	0	0	0	914,245
	介護保険	2,573,258	6,000	0	0	6,000	2,579,258
	下水道事業	1,347,489	0	0	0	0	1,347,489
小計	8,865,148	25,867	0	0	25,867	8,891,015	
	18,423,288	289,756	49,534	0	339,290	18,762,578	

をより公平にしている。短時間保育の保育時間の設定は開園時間の中で選

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

協議するための

◎葉山町介護保険条例の一部を改正する条例

特別交付税を減額されて

くても物価は高く交通の動が労使間でまだ行われ

択できるようにすべきだ。

◎教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

一部を改正する条例

を上げ、町村の地位向上

と葉山町は同じ1級地の1である。憲法第25条、

賛成討論

笠原俊一

例（委員会審査の内容は12ページをご覧ください）

員会審査の内容は12ページをご覧ください

賛成討論

畑中由喜子

生存権で保障されている必要最低限の生活をおく

問題点はこれから協議

◎葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

内容が11ページをご覧ください

平成26年の人事院規則の見直しによって近隣市では横須賀市10%、鎌倉市15%、逗子市15%、横浜市16%の新支給割合が示されたが、葉山町は据え置かれ、6%のまま

長が動かないから議員提案で条例を変えろという

をしてもらいたい。基本的な改正であり、今行っているものとは内容は変わらない。

◎葉山町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

小児医療費について、所得制限を廃止する改正

ある。生活圏を同じくする近隣市との差を考

案で条例を変えろという

一部を改正する条例

消防法施行令の改正に伴う改正

◎葉山町行政手続条例の一部を改正する条例

約半世紀ぶりに教育委員会制度が変わる節目の時である。教育委員会の活性化、改革の取組みが行われることを期待する。

議員の議案提案権を否定するような討論だが、町長が提案したら賛成するの

反対討論

守屋巨弘

今回、地方教育行政が改正されたが、町教育委員会の委員は5人もいない。報酬を下げなければいけない。

反対討論

横山すみ子

賛成討論

近藤昇一

約半世紀ぶりに教育委員会制度が変わる節目の時である。教育委員会の活性化、改革の取組みが行われることを期待する。

反対討論

鈴木道子

賛成討論

田中孝男

委員会審査の中で、県の情報によれば25年

反対討論

必要にして十分なる行

反対討論

窪田美樹

地方の場合、住居は安

反対討論

必要にして十分なる行

賛成討論

畑中由喜子

必要最低限の生活をおく

賛成討論

土佐洋子

賛成討論

土佐洋子

町の6%という支給額は町村としては最高位

賛成討論

土佐洋子

賛成討論

笠原俊一

議会としては市民の利益になる行動を看過するわけにはいかないと判断する。

◎葉山町議会基本条例の一部を改正する条例

議会の会議・委員会における論議を深めることを目的に、町長等の反問権を認めるための改正

主な質疑

問 基本的な考え方は。

答 所得の高い方に多く負担してもらい、低い方の保険料の削減を目指した。

◎葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例

葉山町行政組織条例の改正、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正及び議会広報常任委員会の所管事項に広聴に関する事項等を加えることに伴う改正

反対討論

守屋亘弘

議長を除く全員で組織するべき。広報常任委員会は下請けではない。

賛成討論

近藤昇一

定数を増やし、広報・広聴を連携させるもので

全員協議会でも報告している。

◎議員中村文彦君に対する懲罰の件（委員会審査の内容は13ページをご覧ください）

3月9日の本会議において懲罰特別委員会委員長の審査報告終了後、採決を行ったところ可否同数となったため、議長裁決により、中村文彦議員に対し5日間の出席停止の懲罰を科すことに決定した。

主な質疑

問 議会基本条例策定にあたっては小委員会を設置し、議論があつて、反問権は時期尚早という話だったが、今は機が熟したということか。

答 当時は全会一致ではなかったもので、時期尚早ということではずしたと記憶している。

◎葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例

葉山町行政組織条例の改正、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正及び議会広報常任委員会の所管事項に広聴に関する事項等を加えることに伴う改正

反対討論

守屋亘弘

こればかりは譲れない。現在でも時期尚早だと思っている。議運では全会一致をみなかった。

賛成討論

畑中由喜子

議会での議論をより深め、活性化するためにも長等への反問権の付与が

改めて議論の俎上に乗る。

◎議員中村文彦君に対する懲罰の件（委員会審査の内容は13ページをご覧ください）

3月9日の本会議において懲罰特別委員会委員長の審査報告終了後、採決を行ったところ可否同数となったため、議長裁決により、中村文彦議員に対し5日間の出席停止の懲罰を科すことに決定した。

主な質疑

問 調査・議論が深まったと感じており、この時期に決めて次の議会に引き継いでもらう。

答 私は議会運営委員会で反対したが、良識ある議会がこれからずっと続いて行くように、将来的な環境整備の一つとして賛成することとする。

◎葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例

葉山町行政組織条例の改正、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正及び議会広報常任委員会の所管事項に広聴に関する事項等を加えることに伴う改正

賛成討論

近藤昇一

反問権は議会基本条例の制定の際に盛り込めなかつた経緯があるが、時代の要請とも考え賛成す

賛成討論

守屋亘弘

中村文彦議員は確認もせず不確かな発言をし、しばしば繰り返す。議長は大変苦勞されたが、中村議員は議長のそのような苦勞も、議長の権限も権威も全く顧みず一切の謝罪をしなかつた。それらを含めて、5日間の登壇停止が妥当と判断する。

かな情報のもとというものであり、5日間の出席停止は妥当である。提出された議事録では、中村議員は話をすり替えてい

◎議員中村文彦君に対する懲罰の件（委員会審査の内容は13ページをご覧ください）

3月9日の本会議において懲罰特別委員会委員長の審査報告終了後、採決を行ったところ可否同数となったため、議長裁決により、中村文彦議員に対し5日間の出席停止の懲罰を科すことに決定した。

主な質疑

問 調査・議論が深まったと感じており、この時期に決めて次の議会に引き継いでもらう。

答 私は議会運営委員会で反対したが、良識ある議会がこれからずっと続いて行くように、将来的な環境整備の一つとして賛成することとする。

◎葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例

葉山町行政組織条例の改正、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正及び議会広報常任委員会の所管事項に広聴に関する事項等を加えることに伴う改正

賛成討論

守屋亘弘

中村文彦議員は確認もせず不確かな発言をし、しばしば繰り返す。議長は大変苦勞されたが、中村議員は議長のそのような苦勞も、議長の権限も権威も全く顧みず一切の謝罪をしなかつた。それらを含めて、5日間の登壇停止が妥当と判断する。

賛成討論

守屋亘弘

中村文彦議員は確認もせず不確かな発言をし、しばしば繰り返す。議長は大変苦勞されたが、中村議員は議長のそのような苦勞も、議長の権限も権威も全く顧みず一切の謝罪をしなかつた。それらを含めて、5日間の登壇停止が妥当と判断する。



議場にて 第1回定例会最終日に撮影

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

◎消費増税の中止を求める意見書提出を求める

陳情

陳情の要旨は、政府は平成26年4月1日に消費税率を8%に引き上げた。長引く不況に加え、多くの町民は「アベノミクス」の恩恵どころか、物価上昇、収入減、社会保障削減の三重苦を強いられる。政府は「消費税は社会保障財源に充てる」としているが、消費税は低所得者ほど負担が重く、社会保障財源としてはふさわしくない。財政再建のためには法人税率を見直し、大企業・大資産家に応分の負担を求めることこそ必要であるとし、国に対し消費税10%への引き上げ中止を求める意見書を提出することを求めている。

審査では、「前回の消費税率8%引き上げの際にも、本町議会は全会一致により消費税増税の撤

回を求める意見書を提出していることから、消費税率10%への引き上げについても同様に、国に対し意見書を提出すべきである」との意見でまとまり、全会一致により採択し、意見書を提出すべきと決しました。

◎葉山町情報公開、不服申し立て諮問期間の改善を求める陳情書

陳情の要旨は、町情報公開条例により得た結果に対して、不服申し立てをした場合、町情報公開審査会に諮問するまでの期間が著しく長い場合が見受けられるので、町情報公開条例又は同施行規則等で、当該期間を定めることが望ましいと要望している。

の撤との説明がありました。

委員から、「陳情者の願意は理解できるものの、案件によっては、再検討に時間がかかるものもあり、条例や規則等に期間を設定することには疑問がある」として趣旨了承を求める意見、「当該期間は運用で対応すること

◎葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

も考えるべきである」として採択を求める意見とに分かれました。「趣旨了承でなければ、町は丁寧かつ慎重に検討を行っており、答申までにかかる期間も、結果的に他自治体と比べ短い傾向にある。担当課の説明にもあったように、案件によつては当該期間を限定することで事務局の準備不足になり、かえって審査会の審査に時間がかかる可能性もあることから、本陳情には賛成できない」と合意に至ることができず、採決の結果、賛成少数により不採択されました。

が、逆

るよう、努力をすべきとの意見がありました。

◎特別交付税の算定

審査の中で、町長及び担当課から、「地域手当を国の基準以上に支給していることにより、特別交付税が平成23年度から減額されている状況を是正するため、労働組合と交渉を継続的に行っている」と、近隣市との地域性は充分理解しており、今後、国に対し自治体間格差を埋めるよう要望していくことを視野に入れている」との説明がありました。

町は一日でも早く答申す

別交付税が減額されている現状を改善する必要がある」との賛成意見がある一方で、「地域手当支給率を下げ生活圏が同じ近隣自治体間の給料格差を広げることは優秀な人材確保を困難にするおそれがあり、ひいては町民の不利益に繋がるのではないか。地域手当は、町から国に対し是正要望を行うとともに、労働組合と話し合いを重ね結論を出すべき問題である」との反対意見が大勢を占めました。採決の結果、賛成少数により不採択されました。

ら、まずは、町として特

特別交付税の算定	
12月交付額	10,062千円
3月交付額	148千円
震災復興特別交付税	3千円
平成26年度交付総額	10,213千円
地域手当超過支給による減額	32,559千円

教育民生

◎葉山町教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例

◎葉山町保育所条例の一部を改正する条例

両議案は関連する議案のため、一括して審査を行いました。

委員から、「近隣自治体は本町の階層区分より細かい区分を採用し、所得の変動による利用者負担額への影響を抑える等、低所得者に対する対策を行っている。本議案提出に際しては子育て支援拡充を踏まえた検討がなされる必要がある」と考え

ることから、本議案の内容容では賛成することはできない」として否決を求め、一方、「町の子育て支援策については今後、改善を図るべき点はあるものの、両議案ともに子ども・子育て支援法の制定に伴い制定する必要があるので、と、それぞれ決しました。あることから、意見書を特

に問題となる規定はないものと判断する」とし、行政策定の『教育に関する大綱』と教育委員会策定の『教育総合プラン』との位置づけを明確にし、教育行政の独立性を損なわないよう配慮すべきである」との意見があったことを付記いたします。

◎教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例

◎教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

◎葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

以上3議案は一括して審査を行いました。

「本3案はいずれも、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い制定する必要があるもので特に問題となる規定はないものと判断する」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により可決すべきものと決しました。

◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

「ウイルス性肝炎患者に対する生活支援については国の責任において早急に対策を講じる必要があることから、意見書を提出すべきである」との

総意により全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべきものと決しました。

◎所管事務調査

1 保育園・教育総合センターのエレベーター修繕について

2 し尿浄化槽汚泥収集運搬委託を許可制に移行したことによる町民生活への影響に対する町の対応について

3 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

4 障害者福祉計画について

5 子ども・子育て支援事業計画について

審査では、県内の他議会等の陳情取り扱いについての調査も行い、他の議会では審議未了の扱いをしているところがないことも参考とし、全会一致で採択すべきものと決しました。

◎葉山町議会の権威を上げることを求める陳情書



建設中の保育園

議会運営

◎第1回定例会の運営について

3月6日の委員会で、追加議案等の取り扱いについて協議し、議会日程等を決定しました。

◎陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善を求める

陳情の要旨は、現状の陳情審査において、町政に関する陳情が審議未了となり、審査結果が見えない場合があるので陳情取り扱いについて、議会改選以外での「審議未了」としないよう求めているものです。

審査では、県内の他議会等の陳情取り扱いについての調査も行い、他の議会では審議未了の扱いをしているところがないことも参考とし、全会一致で採択すべきものと決しました。

◎議会改革

*決定事項

1 反問権については、他議会についての調査や

日開催の議員懇談会に出席された、横須賀市との消防指令業務共同運用に関する「打合せメモ」が、町民からの情報公開請求によって開示された「打合せ議事録」を大幅に修正したものを議会に提出している。

これは議会軽視であり、議会として究明し適切な対応をするよう求めているものです。

消防担当職員及び情報公開担当職員の出席を求めて審査を行いました。情報公開担当職員からは、資料作成、情報公開についての改善を職員全体に徹底する旨の答弁がありました。

本陳情は全会一致で可決しましたが、委員会の意思を受け、議長から町側にしっかり申し入れるべきとの意見がありました。

町民の苦情受付は町が率先して行い、そのことを広報していく、とのことでした。

○町長から提出された「中村文彦議員の正確な資料提出及び説明を求める申し入れ」についての対応を報告しました。

本人から、謝罪する意思はないとの回答がありましたので、今後の対応として、その経過を町長に文書で報告し、回答に代えさせていただくことと、本人には議会本会議で嚴重注意することとしました。

**議員懇談会
町長招集による会議**

議長 金崎ひさ

○中村文彦議員に対する政治倫理基準等違反調査請求書が議員5人の連名で3月3日提出されました。

委員謝礼のための予算を伴いますので、補正予算が成立した時点で、速やかに議会議員政治倫理条例に基づく政治倫理審査会を設置します。

その他、行政側から計画等の説明がありました。

*第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画、子ども子育て支援事業計画、新型インフルエンザ等行動計画、等

2月2日、第4回定例会に上程する議案についての説明を受けました。

1 平成27年度当初予算案について

予算編成に向けて、議会から5項目の要望をいたしましたので、その対応状況についての説明も受けました。その内、反映できなかったものは2項目で他の3項目は今後、鋭意努力するとのことでした。

- 広報はやまの配布方法の改善
- 専門業者によるポストイングに改善する。

- 平成25年度下水道事業特別会計決算が不認定となつたことを踏まえ、平成27年度下水道事業予算

を編成すること
今後の下水道事業のあり方を検討する年度としてアクションプランのモデル地区となり、10年後の完成を目指す。

2 葉山町小児の医療費の助成に関する条例の一部改正について

3 新設保育園に係る周辺環境整備補助について
近隣住民の要望実現のための対策費。

4 一色いこいの家耐震工事の繰越明許について
入札不調により4月以降になります。

記 金崎ひさ



全会一致の可決議案等

全会一致の可決議案等	結果
平成26年度葉山町一般会計補正予算(第7号)	可決
平成26年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
平成26年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
平成26年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決
葉山町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決
葉山町火災予防条例の一部を改正する条例	可決
葉山町行政手続条例の一部を改正する条例	可決
葉山町情報公開条例の一部を改正する条例	可決
教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例	可決
教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	可決
横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議について	可決
葉山町介護保険条例の一部を改正する条例	可決
平成26年度葉山町一般会計補正予算(第8号)	可決
葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
平成26年度葉山町一般会計補正予算(第9号)	可決
消費税率10%引き上げ延期でなく、中止することを求める意見書(委員会提案)	可決
ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等支援の拡充を求める意見書(委員会提案)	可決
陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善を求める	採択
消費税増税の中止を求める意見書提出を求める陳情	採択
葉山町議会の権威を上げることを求める陳情書	採択
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情	採択

(平成 27 年 議会第 1 回定例会) 表決結果

議員氏名(議席順)	近藤昇一	窪田美樹	畑中由喜子	荒井直彦	笠原俊一	中村文彦	守屋巨弘	田中孝男	土佐洋子	鈴木道子	待寺真司	長塚かおる	横山すみ子	金崎ひさ	結 果
議案・意見・陳情等															
平成27年度葉山町一般会計予算	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	出席停止	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町国民健康保険特別会計予算	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	出席停止	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町後期高齢者医療特別会計予算	×	× 討論	× 討論	○ 討論	○	出席停止	× 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町介護保険特別会計予算	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	出席停止	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
平成27年度葉山町下水道事業特別会計予算	×	× 討論	× 討論	○ 討論	○	出席停止	× 討論	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	—	可 決
葉山町教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例	× 討論	×	○	○	○ 討論	出席停止	× 討論	○	○	○ 討論	○	○	○	—	可 決
葉山町保育所条例の一部を改正する条例	× 討論	×	○	○	○ 討論	出席停止	× 討論	○	○	○ 討論	○	○	○	—	可 決
葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○ 討論	○	○	○	○	出席停止	× 討論	○	○	○	○	○	○	—	可 決
葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (議員提案)	×	× 討論	○ 討論	○	○ 討論	出席停止	◎ 討論	○ 討論	○ 討論	× 討論	× 討論	×	× 討論	×	否 決
葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例 (委員会提案)	○ 討論	○	○	○	○	出席停止	× 討論	○	○	○	○	○	○	—	可 決
葉山町議会基本条例の一部を改正する条例 (議員提案)	○ 討論	○	○ 討論	○	○ 討論	出席停止	× 討論	○	○ 討論	○ 討論	◎	○	○ 討論	—	可 決
議員中村文彦君に対する懲罰の件	○	○ 討論	○	○	×	除 斥	○ 討論	×	◎	×	×	×	×	○	出席停止 5日間
葉山町情報公開、不服申し立て諮問期間の改善を求める陳情書	○	○ 討論	○	×	×	×	○ 討論	○	× 討論	×	×	×	×	—	不採択

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

※「除斥」とは、審議の公正を期すために議員が自己もしくは利害関係を有する事件の審議に参加できないとする制度(地方自治法第117条)です。

※「出席停止」とは、議員が議会の会議の開催中に地方自治法等に規定された規律等を乱し、これらに違反した場合に科せられる懲罰(地方自治法第135条)の種類のひとつです。

意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定により国会または関係行政庁へ送付しました。紙面の都合上、内容は要約しています。

ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等支援の拡充を求める意見書

我が国のB型・C型肝炎ウイルスの患者・感染者数は300万人を超えていると推定され、ウイルス性肝炎は国内最大の感染症ともいわれている。

平成21年制定の肝炎対策基本法前文では、「B型肝炎及びC型肝炎に係るウイルスへの感染については、国の責めに帰すべき事由によりもたらされ、又はその原因が解明されていなかったことによりもたらされたものがある。」として国の責任が明記されており、国の責務のもと、ウイルス性肝炎患者に対する施策を推進することは喫緊の課題として確認されている。

しかしながら、ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、インターフェロン治療や核酸アナログ製剤治療など一定の抗ウイルス療法に限定されており、重篤化した場合の肝硬変・肝がんの入院費等については助成対象となっていない。さらに、肝疾患に係る身体障害者福祉法上の障害認定制度は認定基準が極めて厳しいため、患者に対する実効性ある生活支援に至っていない状況にある。

よって国においては、ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する支援を拡充するため、次の事項について速やかに必要な措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準を緩和し、患者の実態に即した制度にすること。

平成27年3月12日
葉山町議会

消費税率10%引き上げ延期でなく、中止することを求める意見書

政府は平成26年4月、「社会保障の財源」に充てるとして消費税率を5%から8%に引き上げた。また、年末の総選挙直前、予定していた10%への再度の引き上げを景気の回復が図られていないとして一時的に増税を延期したが、「景気に関わらず2年後実施」と10%増税を明言している。

国民生活に大きな影響を及ぼす「消費税10%増税」は先送りしたものの、すでに8%増税によって、国民は長引く不況に加え、物価上昇、収入減、社会保障削減の三重苦と地域経済は疲弊し、特に中小企業は大きな痛手をこうむり、国民生活に大きな影響を及ぼしている。

消費税増税は、地方消費税交付金や手数料など増収は見込めるものの、建設事業費や物品・役務等で経費の増大となり、その分はすべて国民負担となる。

財政再建は国民への負担増では解決しない。国民のくらし・福祉の向上を最優先にして、格差是正を図ることこそが今求められている。

よって、国民の暮らし、地域経済、少子化が進む中での子育て環境を悪化させる消費税10%増税は、「延期」ではなく「中止」することを強く求めるものである。

なお、消費税10%を見込んでの子ども・子育て支援策は自治体負担でなく、国の責任において実施することを重ねて求める。

平成27年2月10日
葉山町議会

みなさんからの陳情のゆくえ

- ◎陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善を求める・・・・・・・・・・・・・・・・採 択
- ◎消費税増税の中止を求める意見書提出を求める陳情・・・・・・・・・・・・・・・・採 択
- ◎葉山町議会の権威を上げること求める陳情書・・・・・・・・・・・・・・・・採 択
- ◎葉山町情報公開、不服申し立て諮問期間の改善を求める陳情書・・・・・・・・不採択
- ◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情・・・・・・・・採 択

議長からの諸般の報告



に対し嚴重注意することになりました。早急に、学をお約束して、この件の識経験者及び町民から委員を選出し、政治倫理審査会に調査を依頼するこ

○3月3日付けで、5人の議員（守屋亘弘、畑中由喜子、窪田美樹、荒井直彦、土佐洋子の各議員）

から政治倫理基準等違反調査請求書が提出されま

した。調査請求の内容は左記のとおりです。

○2月17日、町長から提出された「中村文彦議員の正確な資料提出及び説明を求める申し入れ」の件

一般質問をするにあたり、議員として当然行

べき調査研究を怠ったのは明白であり、本人から謝罪すべき事案です。し

かし、本人から「謝罪する必要がない」との強い

意思表示がありましたので、説得不可能との結論に至りました。

よって、3月6日、町長に対し、書面にてその経過報告を行い、以後、

このようなことがないよう、本会議において本人

理審査会の設置が可能と

なりました。早急に、学識経験者及び町民から委員を選出し、政治倫理審査会に調査を依頼するこ

といたします。○「葉山町議会の権威を上げることを求める陳情書」を議会運営委員会

で審査した際、議会への提出資料作成及び情報公開されたものとの整合性など、改善すべき問題点に

関して、町長に申し入れをするよう意見がありま

した。その対応として3月12日、町長との話し合

いを行い、今回の情報公開及び議会への資料提出

にあたって、十分に反省し、今後適正に対応する

よう申し入れを行いました。町長から「情報公開

を含め事務処理に係る研修を実施し、適切に対応

することを徹底する」との回答をいただきました。

議長 金崎ひさ

3月12日、関連予算（平成26年度葉山町一般会計

補正予算（第9号）が可決され、議会議員政治

倫理条例に基づく政治倫理審査会の設置が可能と

議会活動日誌

今回は、第4回定例会終了以降、120号発行までの活動報告をいたします。

12月

- 17日 議会広報常任委員会
- 18日 議会広報常任委員会
- 24日 議会広報常任委員会
- 25日 議会広報常任委員会

1月

- 5日 議会広報常任委員会
- 8日 総務建設常任委員会
- 15日 教育民生常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 23日 沖縄県南風原町議会・視察来町
- 24日 議会運営委員会
- 27日 群馬県明和町議会・視察来町

2月

- 2日 議員懇談会
- 3日 沖縄県北谷町議会・視察来町
- 4日 熊本県長洲町議会・視察来町
- 5日 総合計画特別委員会
- 10日 議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 議会広報常任委員会
- 18日 本会議（定例会）

3月

- 19日 予算特別委員会
- 20日 予算特別委員会
- 23日 予算特別委員会
- 24日 予算特別委員会
- 25日 予算特別委員会
- 27日 予算特別委員会
- 2日 教育民生常任委員会
- 3日 総務建設常任委員会
- 4日 総合計画特別委員会
- 4日 議会運営委員会・全員協議会
- 5日 総務建設常任委員会
- 6日 議会運営委員会
- 9日 本会議（定例会）

4月

- 6日 議会広報常任委員会
- 2日 議会広報常任委員会
- 6日 本会議（定例会）
- 6日 全員協議会
- 27日 議会広報常任委員会
- 26日 議会広報常任委員会
- 19日 議会広報常任委員会
- 18日 議会広報常任委員会
- 12日 本会議（定例会）
- 11日 本会議（定例会）
- 10日 本会議（定例会）
- 10日 懲罰特別委員会

質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

鈴木道子

町長 オープンデータ推進への取組みは バスの運行状況を京急に要望している



すべきだが。

町長 三浦半島サミットにおいて第一段階として、AED設置場所と災害時避難場所リストのデータを3月中旬にCSV化し、ホームページに掲載する。

保健福祉部長 4カ月健診の際に、民生委員の赤ちゃん訪問をきちんと知らせるようにする。

問 イクメン・イクボス研修を職員や町民向けに実施や、ダイバーシティマネジメントの概念からも重視すべきだが。

問 行政の透明性・信頼性の向上、町民・県民・国民参加、官民共同の推進、経済の活性化、行政の効率化が三位一体で進んでいけるようにオープンデータ推進の取組みを

問 次の考えは。

町長 バスの運行状況のオープンデータ化を京浜急行に要望している。

問 「こんにちは赤ちゃん事業」で、地域での見守り体制作りが必要だ。行政との連携は。



保健福祉部長 ずっと前に町民向け講座を実施したが、機会を見て研修を進めていきたい。

問 ベビーカーマークがまだ周知されていない。マナーも含めて周知すべきだが。

保健福祉部長 町として他の質問 公衆用道路への対応状況

土佐洋子

40歳以上にヨウ素剤配布は 町長 変更して対応を図りたい



この会場となった。その時の効果は。

町長 県もすっかり協力を

するということ答弁をもらった。町として支援を定めた上で県と共同歩調を

歩んでいきたい。

問 '20東京オリンピック・パラリンピックで、政策局長から、県も町と協力してバックアップすると

の会場となった。その時の効果は。

教育部長 国体のプレ

本選では準備室を設置し、職員がいろいろなポジションで動いた。効果は資料がないのでわからない。

問 県の補正予算の神奈川県

川シープロジェクト魅力

の会場となった。その時の効果は。

総務部長 三浦半島のマ

イルストーン並びに、サイクルステーションの整備事業だが詳細は把握し

ていない。

問 町内に福祉避難所はないのか、また検討は

というキーワードに代弁されている。

総務部長 見直しを図り

町民に周知したい。

問 国際原子力機関の基準ではヨウ素剤を年齢・性別問わず適用している。

町では40歳未満に限っているが、対応は。

総務部長 設定していないが、確保をしていきたい。

問 県が新たに町の津波浸水想定を最大波10.2

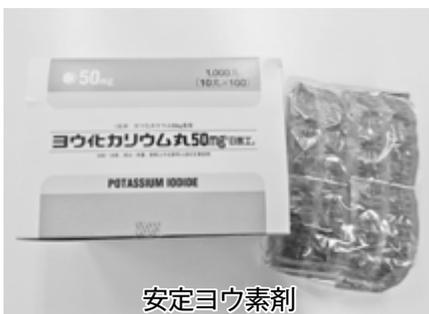
分、到達時間を11分としたが、対応は。

総務部長 見直しを図り

町民に周知したい。

問 国際原子力機関の基準ではヨウ素剤を年齢・性別問わず適用している。

町では40歳未満に限っているが、対応は。



安定ヨウ素剤

窪田美樹

介護者の緊急時に要介護者への対応は
保健福祉部長 施設に空きがあれば受け入れ可能



問 介護者の病気等緊急時に、要介護者の対応は。保健福祉部長 町内の3施設で、ベッドの空きがあれば受け入れ可能だ。

問 満床時もあり、緊急時短期入所生活介護事業として町が取り組むべき。保健福祉部長 状況を把握し、検討したい。

問 27年度、テーマに掲げた「健康」施策だが、平日の昼間や抽選で参加できる対象者が少ないが。町長 職場地域での健康事業を活用してほしい。

一方、平日町内にいる町外在住者への機会も必要。全等を考え、校内や学校近隣に定はどのようなものか。教育部長 測定値と平均値を記し自分がどの位置に分かるようにしたい。

問 指導や相談等のアフターケアの考えは。教育部長 協議の中で投げかけていきたい。

問 不妊治療・不育治療費助成の取組みは。町長 総合計画等に記載がなく対応を検討する。

問 県内17自治体、同じ財政規模の大磯・愛川町では手厚く行っているが。町長 他市の動向を把握し、検討を進めたい。

問 町長の望む学童保育のあり方は。町長 通学の安全を考え、校

問 余裕教室のない学校での実施は難しい。逗子市では新設し学童保育を行っている。意気込みは。町長 統廃合を前提に施設整備を行い、新設はあり得ず、教育委員会等と協議し、建物・教室を有効活用する。



ショートステイ事業所

待寺真司

スポーツや文化芸術進行条例の制定を
町長 今後の研究課題のひとつとする



問 各町内会・自治会に防災士の有資格者が最低1人いれば、地域の安全安心につながる。女性防火防災クラブとの連動を図るなど、地域防災力向上のため、講習などにかかる費用の助成をしては。町長 防災に精通した方が必要という見解は理解できるが、特定の資格者を支援するのは難しい。まずは町職員が防災士に匹敵する専門知識を習得することに力を入れる。

問 大規模災害発生初動時の避難者受入れが、体育館だけでは難しい時は、普通教室での受け入れなど緊急体制に関する協議は進んでいるのか。町長 今後しっかりと研究を重ね、ホームページだけではなく、機会を捉えて直接伝えていきたい。

問 スポーツや文化・芸術振興条例を策定し、推進協議会を立ち上げ、推進計画を作り進捗管理を行うなど、早急に取組むべき

問 平成27年6月の改正道路交通法では、自転車等の運転に関する違反項目が14となり、大変厳しくなる。町としてルール違反をなくするための啓発活動等、重層的な取組みは。町長 今後しっかりと研究を重ね、ホームページだけではなく、機会を捉えて直接伝えていきたい。

問 スポーツや文化・芸術振興条例を策定し、推進協議会を立ち上げ、推進計画を作り進捗管理を行うなど、早急に取組むべき



逗子アリーナ

近藤昇一

町長 長柄交差点の諸問題は積極的に改善要望をしたい



問 長柄交差点の諸問題への対応は。

町長 朝夕の渋滞解消等を、県横須賀土木事務所と葉山警察署に、積極的に改善要望をしたい。

問 子供の遊べる公園の必要性は。

町長 子供の利用に特化した広場を設置する必要性を慎重に検討する。

問 町長も「ボールの蹴れる公園」というマニフエストを掲げているが。

町長 なかなか手がつけられないのが現状だ。問 防災広場と旧役場跡地は、もつと有効に活用できる場所では。

町長 子どものためだけの公園とすると、他の方

々が使えない不便も発生する。公共空地として意義を持つている。

問 計画が確定するまで、町民に開放すべきでは。

町長 活用は、1〜2年で答えを出す。

問 あじさい公園の今後の方針は。

町長 公園用途で使用している民間借地すべて地権者に返す方針が、園路の一部で通り抜けができない場所を生じさせた。町の所有地内で周遊できる園路を整備する案を作成したが、費用対効果等を勘案し、予算計上を見送っている。

問 整備費用の金額は。

町長 都市経済部長 現実に約600万円と

判断している。年間1万円の借地料を惜しんで、600万円かけるのか。再度地権者と話し合うべきでは。

町長 先方の意思もある。十分尊重し、今後の対応を決めたい。



長柄交差点

横山すみ子

町長 ごみ焼却炉廃炉等の予定は近隣自治体との連携で安定処理等を含め検討



問 ごみ問題は毎回のように質問しているが、明確に進んでいない。まず、近隣自治体との連携の方針は。

町長 逗子市を訪問し、当町の可燃ごみの処理について打診。今後、両市の協力関係構築の可能性について情報交換を行う。

問 ごみ処理基本計画改定の予定は。

町長 27年度末に予定のごみ減量目標達成度を見ながら、第四次総合計画を反映した10年間の計画見直しをする。

問 ごみ焼却炉廃炉及びクリーンセンターの耐震化について伺う。廃炉の方針が出たまま、来年ととも公表する。度予算にも何も計上されていないが。

町長 焼却炉を使用しない方針に変わりはない。近隣自治体とのパートナーシップの構築や老朽化している公共施設全体を含め、クリーンセンターのあり方も検討する。

問 ごみ問題の

方針が出たまま、来年ととも公表する。

問 福祉文化会館ホールの暖房が効かず、非常に寒い。すぐ対応を。

町長 舞台袖に扉を考

るなど、対応する。

問 ごみ問題の検討委員会設置

は。

町長 ごみ戸別収集の状況や逗子市との情報交換などを進める中で、必要に応じて設置する。

問 ごみ処理費用については、早期に町民に公表すべきでは。

町長 平成26年度のごみ実績

度のごみ実績



パッカー車

荒井直彦
都市経済部長 皆さまとも相談していく
農業活性化に「レモンの木」を推進しては



問 逗子市では、平成25年度に神奈川県で初めて植木剪定枝粉砕車両「チップ君」を導入し稼働している。町でも検討するべきでは。

生活環境部長 実際に逗子市に伺い状況を確認し、葉山町の現状との比較検討はしている。

問 植木剪定枝の取扱いでは、東京都調布市でも一部をチップカー車で区内処理をしている。町でも取組みを検討する価値があると思うが。

町長 町として取組むべき気持ちは十分持っているが、費用面、人事体制等の確保次第になるので時間をかけて検討してい



とげなしレモンの苗木

問 北海道や東北地区では、植木剪定枝の取扱いを福祉作業所でペレットを製造・販売しているが、な取組みに果樹系では

町長 ゴミとして発生する物を、町民の皆さまに還元するペレットの仲介を通じ、その作業の流れの中で障害をお持ちの方が働く場として提供する。これは、循環する世の中、最終的にたどり着ければいいと思う。

問 昭和33年に夏みかん、国際姉妹都市とオリーブという歴史がある。今後、農業活性化として前向きな取組みに果樹系では

町長 「レモンの木」にしては、

都市経済部長 してはいけない理由はない。今後は町長とも皆さまとも相談してストーリー性を考へながら、レモンの木に

問 職員諸君の報償制度を確立すべき。また、業績評価制度の実態は。

町長 現在、本町での職員への報償は、葉山町職員提案規定により、提案に類する制度は存在するものの、近年、運用した事例はない。更なる職員の意識向上を図るためにも、多方面の状況を研究し、検討したい。業務評価は、勤務態度評価、能力評価とともに、人事評価制度の3本柱のひとつとしており、平成27年度に試行して取組む。

問 27年2月4日、県知事から、町の広報紙「広報はやま」が、平成26年度県広報コンクールで

守屋巨弘
職員報償制度は
町長 現在検討の最中だ



受賞された職員のみなさん

報紙町村の部で最優秀賞を受賞。大変結構なことだ。葉山町職員審査委員会の規程の第2条第5項に、職員の表彰及び昇給の運用に関する事項がある。庁内でも是非、表彰してりでよいと考える。

町長 私も公表されている範囲でしか承知していない。本件に関し、現在の教育委員会の方針をお

問 町長は全部把握しているのか。

町長 私も公表されてい

町長 何らかの機会を設けられないか、現在検討の最中だ。

問 26年6月5日、全国学力テストの学校別結果を公表すべきと教育長に質問した際、今後は検討していく予定だとの答弁だった。いつまで検討するのか。

教育長 平成26年度も考えた結果、町全体（学校別ではなく）の公表にとどめたいと判断した。

笠原俊一

町有地にある墓地の将来構想は
関係者と協議し決定したい



問 自治会等の会合は公民館が適当。法の趣旨に沿う利用形態と武雄市等の新時代の図書館運営も研究して欲しいが。

教育長 図書館2階のホールと研修室では、講座の開催や町内会を含む団体等に開放しているが、現状以上の開放には改修も必要となる。利便性の向上に向け研究をする。

問 利用向上に図書館第2駐車場として、防災広場を活用できないか。

町長 臨時駐車場には、行政財産目的外使用の手続きが必要。一方、子ども公園の提案もあり、今回の提案と公園案2案を貴重な御意見とする。

問 町有地にある墓地の現状と将来構想を伺う。

町長 11カ所の墓地は、明治45年に地元所有者等から譲渡を受けた。墓地の管理は各墓地管理組合が行い、大きな工事等では協議の上、予算の範囲内で町が行った事もある。今後管理組合が主体で維持管理を行う。

問 元町地区の現状から津波避難タワー用地の検討や、クリーンセンター跡地を移転先としてセレモニーホールを兼ねた研究など、防災面からも関係者や管理組合と協議を始める時期ではないか。



町有地にある墓地

問 町有地にある墓地の後のあり方は、現在そのに眠られる方々のご子孫の皆さまと話し合いの上、移転や笠原議員のような期待があれば、町としての管理は各墓地管理組合が担う。なお、同様に自治体の参考資料も取り寄せたい。

問 ごみ処理問題は以前より「近隣自治体とのパートナーシップで解決を」といわれてきたが、26年「逗子市」と具体的に表明した。内容は。

町長 前に緊急避難的に横浜市にお願いしたようなことではなく、長期的な処理体制を望んでいる。横須賀市・三浦市との広域の枠に入ることはできなくなった。独自に炉を造れば40億円近くかかるだろう。三浦市は広域の負担金が44億5千万円、逗子市の延命工事は31億8千万円だ。葉山町で独自の炉は。

町長 それほどのお金かけて、この町につくる必

要はないと考える。燃やす中間処理は他の自治体の協力を得ることが町としては必定。他の中間処理は、葉山町ができる事は何かと考える。そのような形のパートナーシップを構築できればと思う。

問 ごみ問題は2つの大きな問題がある。将来的に安定して処理ができる事と、いかに経費を削減していくかだ。戸別収集によって、収集ごみは6カ月で約20%減ったとされるが、経済効果は。

町長 粗大ごみや植木剪定枝などの物もあり難しいが、半年で1500万円強が下がった。



資源ステーション

田中孝男

将来も安定したごみ処理は
「逗子市」と協議を進めて行く



問 25年度のごみ処理経費は7億7千万円まで下がったとされるが、固定的な人件費3億円強が含まれる。将来展望は。

町長 覚悟を持たなければ解決に向かわない問題

は、葉山町ができる事は何かと考える。そのような形のパートナーシップを構築できればと思う。と

表紙説明

1月25日、絶好の駅伝日和の中、神奈川県警察女性白バイ隊に先導され、一色小学校をスタートし、周辺道路をコースに葉山

駅伝大会が行われました。コスプレチームやオレオレ詐欺撲滅を訴えながら走る葉山警察署チーム、AED装置を持って走る葉山消防チームなど124チーム620人の選手が参加、

葉山中「吹奏楽部」の演奏もあり、会場は盛り上がりました。協賛企業等110以上、賞品提供を得て町の活性化にも貢献しています。



議会交際費支出状況(平成26年10月~平成27年3月)

内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

種別	件数	金額(円)
慶弔費	1	10,800
会費	9	53,000
賞品代	1	7,077
寸志(祝金)	4	43,624
その他	3	26,030
合計	18	140,531

町長行政報告

○訴訟の経過報告

平成26年9月19日付けで、葉山町を被告とする訴状が株式会社サンフォーレケアサービスから提出されていましたが、

27年1月26日に開かれた口頭弁論において、原告側より葉山町に対する訴えを取り下げの旨の陳述があり、町がこれに同意したことにより、本訴訟は終了いたしました。

○1千万円以上5千万円未満の契約

(千円未満四捨五入)

- ① 葉山処理区(堀内) 枝線築造工事(その2) 4062万円
- ② 風早橋補修工事 1688万円

議会の最新情報は
ホームページを
ご覧ください



でもたちのスポーツシーンを表紙に、元気をもらえた気がします。

任期中最後の定例会が終わり、議会広報常任委員会もこのメンバーでの最後の議会だよりの編集作業を行っています。

この2年間で大きな変革は、この委員会が、特別委員会から、常任委員会へと変わったこと、ユーストリームで全ての委員会中継が実現したことです。

3月19日記
畑中由喜子

平成27年第2回定例会は
議員選挙後の臨時会で
決定の予定です。

議長 金崎 ひさ
議会広報常任委員会

- 畑中由喜子 荒井 直彦
- 守屋 亘弘 田中 孝男
- 土佐 洋子 窪田 美樹

このメンバーで2年間編集に携わりました